

年度	2026年度
試験日	2026年2月19日(木)
学部	教育学部
入試制度	一般選抜(C方式)
試験科目	国語(国語国文学科)

出題意図及び解答例(解答のポイント)

【注意事項】

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

早稲田大学教育学部の一般選抜では、①教科に関する確かな基礎学力と②「教える・伝える力」の基盤となる高い論理的思考能力と言語運用能力に関する能力を評価・判定します。

国語(国語国文学科)の出題範囲は国語で、現代文・古文・漢文いずれにおいても、深い読解力と思考力とともに、文章表現力を問う問題とします。(なお、A方式「国語」の問題とは異なります。)現代文では、長めの記述問題を出题し、読解した内容に基づいていかに自身の考えをわかりやすく的確に表現できるかを問うています。また、古文では、文学史や文法などの知識とともに、比喩的な表現を前後の本文から、その内容を類推し、考える力を確認しました。さらに、漢文では、近代日本語文体の一つ、漢文訓読体の文章を、漢文の基礎をふまえながら、きちんと正確に理解できるか否かを問うものになっています。

■解答例(解答のポイント)

(一)

問一 ハ 問二 イ 問三 ニ

問四 一義的な解答が導き出せないため、解答のポイントをご確認ください。

<解答のポイント>

こまやかな表現に込められた筆者の思考の展開を想像し推し量る力と、そのことを端的かつ論理的に説明する力の双方を問うています。

(二)

問五 v ハ w ホ x ニ y ロ z ニ 問六 しか 問七 ホ

問八 一義的な解答が導きだせないため、解答のポイントをご確認ください。

<解答のポイント>

父宮が息子の和歌を聞いて、どのように感じたのかを適切に捉えられるかを確認します。具体的には、屋敷の主人である自分をさしおいて、主人のような歌を詠んだことを理由として押さえられているかがポイントになります。

問九 一義的な解答が導きだせないため、解答のポイントをご確認ください。

<解答のポイント>

基本的な古語の知識だけではなく、和歌にこめられた比喩表現を本文全体と関連づけながら類推し、読み解く力を確認します。九重は宮中をあらわす古語です。その宮中に移された「菊」に、詠み手が託した思いを把握できるかがポイントになります。

問十 イ

(三)

問十一 a もとより b いやしくも c つかふ

問十二 ロ

問十三 どうして潔白なる我が身で世俗の汚れを受けとめられましょうか、とても受け入れられない。

<解答のポイント>

反語表現であることを理解し、「能」の字義を訳文に含めることが求められます。

問十四 ハ 問十五 ホ 問十六 ホ